

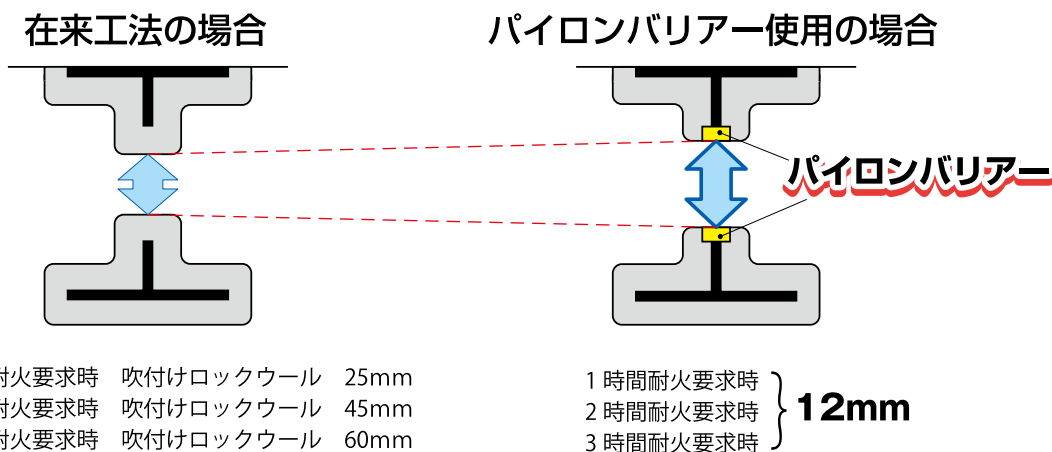
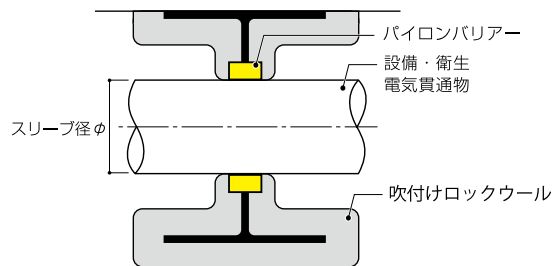
メリット1

メリット1 スリーブ径の有効活用

貫通孔に対して、通常より被覆厚を薄くできるので、設備スリーブの有効面積を最大限に確保することができます。

今まで確保しづらかった部分が厚さ12mmでクリアできます。

例えば、貫通孔径300φとした場合、1時間耐火で21%、2時間耐火で71%、3時間耐火で133%、有効面積の大幅なアップが可能となります。



1時間耐火要求時 吹付けロックウール 25mm
 2時間耐火要求時 吹付けロックウール 45mm
 3時間耐火要求時 吹付けロックウール 60mm

1時間耐火要求時 }
 2時間耐火要求時 } **12mm**
 3時間耐火要求時 }

貫通孔径300φのスリーブ径対比

在来工法（吹付けロックウール耐火被覆）

耐火時間	1時間耐火	2時間耐火	3時間耐火
被覆厚さ (mm)	25	45	60
スリーブ径 (φ)	250	210	180
有効面積 (cm ²)	491	346	254
有効面積比較	1	1	1



パイロンバリアー使用の場合

耐火時間	1時間耐火	2時間耐火	3時間耐火
被覆厚さ (mm)	12		
スリーブ径 (φ)	275		
有効面積 (cm ²)	594		
有効面積比較	1.21	1.71	2.33

設備配管の有効面積が大幅にアップします。

